



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.204 2012.3.8

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

財調基金残高ゼロ

どうなってる？ 北区の財政

それでも積立金は300億

マスコミが「北区・財調基金残高ゼロに」などと報じ、一部で心配の声が広がっています。しかし、2012年度末の北区主要5基金残高見込みは、依然として300億円の規模。北区の財政運営にはなんら問題は生じていません。

北区の積立金は、主要5基金（財調、減債、施設建設、まちづくり、学校改築）からなり、2006年度に300億円を突破しました（グラフ①）。

積立金は くらし応援に

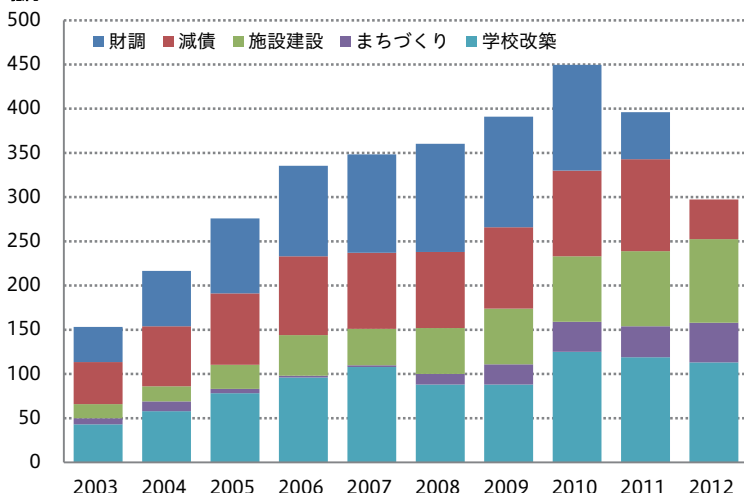
10年度末には過去最高の450億円に達し、日本共産党北区議員団は「積立金は区民のくらし応援に使うべき」と主張。これを受け区は、使途に制限のない財調基金を約90億円取り崩して一般会計に投入、今年度は待機児解消、全高齢者実態把握調査、住宅リフォーム助成制度など、区民の切実な要求が実現しました。区は新年度も引き続き

68億円を取り崩すため、財調基金は見かけ上、ゼロになります。年度末には数十億円の規模で繰り戻される見込みです。

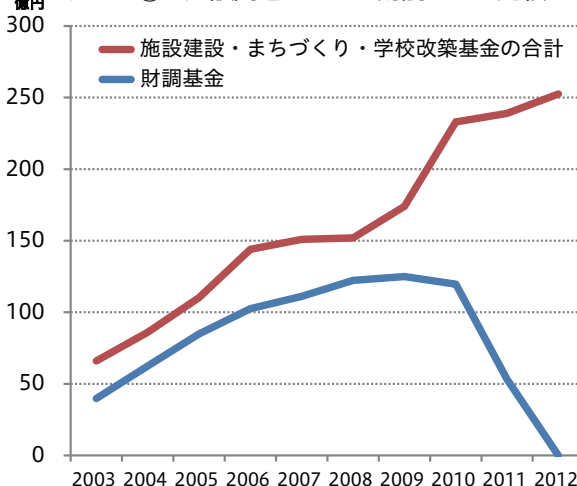
建設関連の 3基金は急増

財調基金が底をついても積立金の合計が300億円の水準を保っているのは、建設関連の3基金（施設建設・まちづくり・学校改築）が10年間で3・8倍、約250億円へと急増しているため（グラフ②）。ここ数年間で、庁舎には50億円、十条まちづくりには40億円を積み上げています。いわゆる「ハコモノ」だけは聖域とする財政運営は見直すべきです。

グラフ①：主要5基金の現在高推移 ※11・12年度は見込み（グラフ②も）



グラフ②：建設関連3基金と財調基金の比較



東京北社会保険病院が

63床増床へ

NICU・GCU整備、手術室増室
分娩室増室など周産期を充実

2日、そねはじめ前都議や同僚の区議と増床計画を発表した東京北社会保険病院を訪ね、お話をうかがってきました。

病院側は100床程度の増床を計画していたのですが、都内でのベッド数は地域ごとに基準が決められており、区西北部保険医療圏（北区、板橋区、練馬区、豊島区）の中では63床までしか許可されなかつたそうです。

具体的な整備の内容は、**①NICU**（新生児治療室）、**GCU**（継続保育室）の整備、**②ICU**（集中治療室）、**CCU**（心疾患集中治療室）の整備、**③分娩室**の増室など周産期の充実、**④検診センター**



増築計画の完成予想図（左の青い棟が新築される建物）

を新棟に移動し、同フロアを救急室として拡張、**⑤災害対策**として使用できる講堂・会議室の整備、**⑥一般病棟**の2単位増床・手術室の増室、**⑦病児病後児保育スペース**の確保、**⑧レストラン再開**、**コン**

ビニ拡張などアメニティの充実、などとなっております。

また、看護師も61名を新たに採用、診療科目の増加も予定しています。竣工は3年後。区民の「命の砦」としての役割を期待しています。
（のの山けん）

赤羽公園 キリンのすべり台 **まもなく** 復活



3年前の台風で壊れ、撤去された赤羽公園のキリンのすべり台。「ぜひ復活させてほしい」という利用者の声にこたえて、現在、復元工事がおこなわれていますが、すでに基礎の部分ができあがり、3月の半ばには完成の予定です。

以前の滑り台よりは少し小ぶりになりましたが、キリンの首にあたる滑り口の部分が3方向にのびる形は、原型を忠実に再現しています。